

熊本地震で被災した熊本城は、熊本城復旧基本計画に基づき、着実に復旧の歩を進めています。貴重な文化財としての価値を後世に確実に引き継いでいくため、石垣や建物は可能な限り元の部材を使い、伝統的な手法で被災前の状態へ復旧することを目指しています。一方、次なる災害にも耐えられるよう、耐震補強などの対策も進めています。

復旧進む熊本城 耐震化でより強く 石垣内部に補強材、崩落防ぐ

慶長12年(1607年)加藤清正による築城以来、熊本城は明治22年(1889年)の地震をはじめ、地震や台風による被災と復旧を繰り返してきました。熊本地震からの復旧では、文化財としての価値を守りつつ、必要に応じて耐震補強も行っています。

補強は、文化財的価値を損なわないよう最小限にとどめ、元の部材を傷めないことや意匠などにも配慮し、丁寧な調査と検討を重ねて工法を決定しています。

飯田丸五階櫓の石垣は地震で一部が崩落し、隅の石列のみで櫓を支える姿から「奇跡の一本石垣」とも呼ばれました。復旧では、石工の伝統技術により石を元あった場所へ一つ一つ丁寧に積み直すとともに、石垣内部にネット状の補強材を敷き、受圧板と呼ばれる円形状の部材で表面の築石を押さえることで熊本地震と同程度の揺れでも崩落しない構造となっています。

また、倒壊した長堀は、折れた石柱をつなぎ合わせるなど元の部材を活用しながら地震前の姿へ復元し、さらにステンレス製の補強材やコンクリートで補強を行うことで、地震や台風にも耐えられる構造となりました。

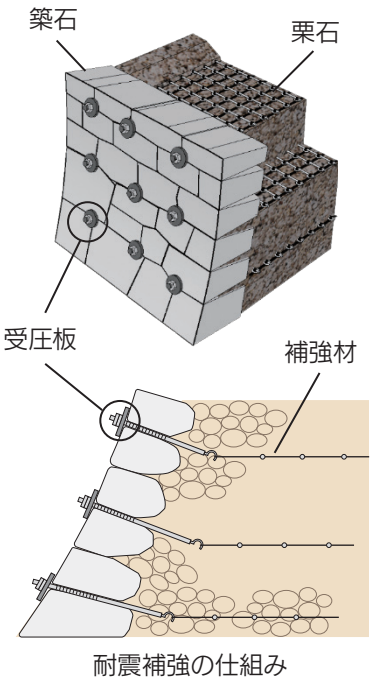
令和3年3月に復旧した天守閣は、耐震壁や地震の揺れを軽減するダンパーなど、さまざまな最新技術による耐震補強を行い、来園者が安全に観覧できるようにしています。

以前の姿に復旧するだけでなく、さらに強くなり、進化を続ける熊本城にぜひ注目してください。

宇土櫓の軸組を360度映像でご覧いただけます！
(YouTubeで公開中)



復旧が完了した飯田丸五階櫓の石垣。耐震補強のため、中には補強材が敷かれている



耐震補強の仕組み



飯田丸五階櫓の石垣内部に設置される補強材



金物とコンクリートで補強し、復旧した長堀



天守閣に設置された制振ダンパー。見学できるよう露出させている



倒れた長堀の石柱の中にステンレスのボルトを入れて、つなぎあわせる

(熊本城総合事務所 復旧整備課 ☎096-328-2858)

「熊本城REVIVAL2026」夏ノ彩 ～歩みの十燈～

熊本地震から10年の節目に、これまでの復旧・復興の歩みを振り返り、災害の記憶を未来に伝えていくイベント「熊本城REVIVAL2026」。8月の「夏ノ彩」では、夏季限定の特別ライトアップで哀悼の意を表現します。



日時:8月7日(金)～16日(日)
午後7時半～9時(平日)
午後7時半～9時半(土日)

場所:熊本城二の丸広場



詳しくはこちらへ

(観光政策課
☎096-328-2393)

竹の丸を特別公開します

熊本地震以降、復旧工事のため長らく公開されていなかった熊本城竹の丸エリアを、肥後名花園で大切に育てている肥後朝顔の開花に合わせて、限定公開します。入場無料。皆さまのお越しをお待ちしています！



光沢のある花びらが特徴の肥後朝顔



限定公開される竹の丸

日時:8月8日(土)、9日(日)、9月5日(土)、6日(日)午前9時～午後5時

場所:熊本城竹の丸
(行幸坂方面から入退場ください。)

(熊本城総合事務所
☎096-352-5900)

7ページ
自転車の交通ルールクイズの答え

正解は ✕

自動車や歩行者が少ない道路でも、自転車の並走は禁止です。実際に、自転車同士がぶつかって転倒し、けがをする事故も起きています。(道路交通法第19条)

熊本市コールセンター 市の手続きや休日当番医など、気軽にお尋ねください。

午前8時～午後8時(年中無休)

ひごまるコール ☎096-334-1500

ひごまるコール



市政へのご意見・ご提案

市政に対するご意見やご提案等をお寄せいただき市政運営にいかしていきます。

市民の声
投稿フォーム



公式ホームページ・SNS

最新情報をお届けします

ホームページ



Facebook



X



LINE



配布に関する問い合わせ 市政だより配布センター ☎0120-666-659

午前8時～午後8時
(土・日、祝日は除く)

発行/広報課 ☎096-328-2043 ファクス 096-324-1713 E-mail kouhou@city.kumamoto.lg.jp

「QRコード」は(株)デンソーウェーブの登録商標です。